



香川河川国道事務所から、高松経済記者クラブ、丸亀記者クラブ、善通寺記者クラブへも同時に資料提供しています。

平成25年 6月 7日

想定を超える大規模水害が起きたときの地域の生き残り計画を考えます —土器川 DCP（地域継続計画）の検討を開始—

香川大学危機管理研究センターでは、南海トラフ巨大地震に備えるために関係機関と連携して昨年5月8日に「香川地域継続検討協議会」を設立しました。これまで5回の協議会、9回の勉強会を開催し、香川地域が四国の災害対応拠点として機能できるよう、検討を重ねてまいりました。

しかし、近年、地球温暖化などが原因と考えられる気候変動により、豪雨等の発生頻度が年々高くなっています。今後、**想定を超える大規模洪水災害発生の恐れがあり**、備えるべき災害は地震だけにとどまりません。

このたび、国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所、香川県防災士会と連携して、**全国に先駆けて「大規模水災害に適応した対策検討会」**を設置し、土器川の大規模氾濫を想定した場合の「**地域継続計画（DCP）***」を策定します。

この検討会では、土器川氾濫地域の住民の方を中心とした意見交換の場を設けて、ワークショップ形式で土器川流域のDCPを策定し、**気候変動に適応した強靱な社会づくり**を目指します。

1. 「大規模水災害に適応した対策検討会」の組織構成

会長：香川大学危機管理研究センター センター長・教授 白木 渡

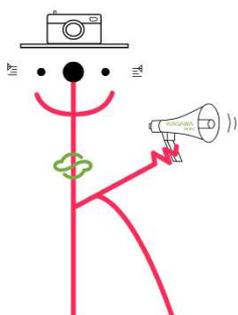
構成員：香川県中讃土木事務所、丸亀市、まんのう町、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、香川県防災士会、国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所、香川大学危機管理研究センター

2. 検討スケジュール

※別紙参照

【※地域継続計画（DCP：District Continuity Plan）とは？】

地域の生き残り計画のことです。私たちの住んでいる地域が大規模な災害で被害を受けて機能不全に陥った場合を想定し、関係組織が連携して事前に策定しておく計画です。



➤ 問い合わせ先

香川大学危機管理研究センター 磯打（いそうち）

〒761-0396 香川県高松市林町2217-20

TEL 087-864-2532

不在の場合

TEL 087-864-2544（事務担当：谷）

土器川DCP 検討スケジュール

別紙

●香川地域継続検討協議会(既存会議)・・・香川県内における大規模水害を検討

- ・メンバー 国, 県, 市, ライフライン事業者, 経済団体等 19団体で構成
- ・事務局 香川大学危機管理研究センター (平成24年5月8日設立)



「とりまとめ書(案)」の提出(平成26年1月下旬予定)

●大規模水災害に適応した対策検討会・・・土器川をケーススタディとして検討

- ・メンバー 香川大学危機管理研究センター、香川県中讃土木事務所、丸亀市、まんのう町、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、香川県防災士会、四国地方整備局香川河川国道事務所
- ・開催時期 準備会(設立) 平成25年5月14日(火)午前(実施済)
第1回検討会 平成25年11月下旬予定
第2回検討会 平成26年1月下旬予定



意見集約

●大規模水災害対策ワークショップ

- ・メンバー 土器川氾濫地域住民、香川大学危機管理研究センター、香川県中讃土木事務所、丸亀市、まんのう町、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、香川県防災士会、四国地方整備局香川河川国道事務所
- ・開催時期 模擬WS 平成25年5月31日(金)午後(実施済) 丸亀市民会館
- 及び場所 第1回WS 平成25年7月28日(日)午後 丸亀市民会館
- 第2回WS 平成25年8月31日(土)午後 丸亀市民会館
- 第3回WS 平成25年10月6日(日)午後 丸亀市民会館